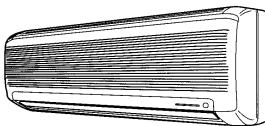


ガスシステムエアコン

組み合わせ室外ユニット

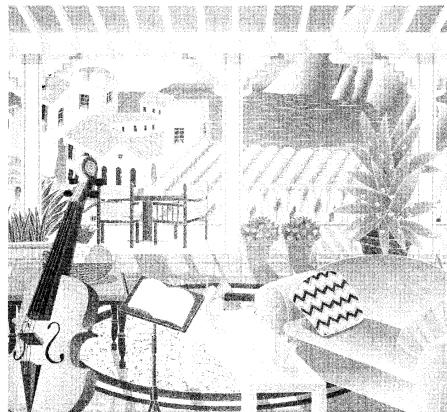
室内ユニット	142-5020
室外ユニット	
セパレートタイプ	定速 142-7020



このエアコンは地球のオゾン層を破壊しない、新冷媒R410Aを採用しています。


取扱説明書

このたびはガスシステムエアコンをお買いあげいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは“保証書”とともに大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1
ご使用になる前に必ずお読みください	
各部のなまえ（室内・室外ユニット）	4
（リモコン）	5
運転前の準備	6
おまかせ運転（自動運転）	8
おこのみ運転	
（暖房・ドライ・冷房・送風運転）	9
風量・風向調節	10
入タイマー運転・切タイマー運転	11
1H（時間）タイマー運転／おやすみ運転	12
エアコンのかしこい使いかた	13
お手入れのしかた	15
応急運転	17
知っておいていただきたいこと	17
故障かな？	18
すぐ販売店へ	19
アフターサービス	20
設置について	21
仕様	22

ご使用の前に

使いかた

必要なときに

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして、（火気に注意して）大阪ガスに連絡してください。

85264180704001

99大阪ガス

安全上のご注意

安全に関する重要な内容です。安全にお使いいただき、ケガや事故を招かないためにもよくお読みになり、必ずお守りください。また、日常のお手入れ、お取り扱いに関するご注意もあります。ご確認のうえご利用ください。

表示の説明

安全上の注意は、危険度に応じてつぎのような2段階に分けています。安全にご利用いただくための指針としてご理解ください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が生じる場合が想定されることを表しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される場合、および物の損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示についてはつぎのような意味があります



安全な位置に正しく機器を設置（および付帯工事）する

機器の設置・移動および付帯工事は、お買いあげの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

自分で修理・移動・再設置・廃棄はしない

不備があると火災・感電・水漏れなどの原因になります。廃棄時も危険ですので、自分で行わないでください。

火災を防ぐために

機器の上や周囲に燃えやすいものを置かない。
火災の原因になります。

回転物に注意する

機器の吸込口・吹出口に指や棒を入れない。
内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になります。特に小さいお子さまには、ご注意ください。

△ スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを機器のそばで使用しない。
引火・爆発のおそれがあります。

スプレー缶は厳禁

△ スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風の当たるところに放置しない。
熱で缶内の圧力が上がり、爆発するおそれがあります。

異常時の処置について

! 異常を感じたら、使用を中止して専用ブレーカーを切る。

使用中に異常な燃焼、臭気、音が感じられたときは、ただちに運転を停止して、お買いあげの販売店もしくは大阪ガスへご連絡ください。

! 地震・火災など緊急の場合は運転を停止し、専用ブレーカーを切る。

あわてずに運転を停止し、専用ブレーカーを切ってください。

分解禁止

△ お手入れが必要なところ以外は、絶対に分解しないでください。

お客様自身では絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。異常作動して、故障や事故の原因となります。

電気事故を防ぐために

△ ぬれた手で電源プラグを触らない。

△ 電源プラグはときどきホコリをきれいにふきとる。

長期間放置するとホコリなどによりプラグ発火の原因となります。

! 電源プラグの差し込みは確実に／いたんだ電源プラグ・コードの使用禁止。

差し込みがゆるかったり、いたんだ電源プラグ・コードは、感電や火災の原因になります。

△ 電源コードを引っ張ってプラグを抜かない。

断線して発熱や火災の原因になります。

△ 電源コードを切断して延長しない。

機器の設置は電源コードがコンセントに届く範囲内としてください。切断しての延長は、火災などの原因となります。

正しく扱わないと事故やケガにつながります。とくにご注意ください。

△ 電源プラグの抜き差しによる運転・停止はしない。

リモコンやスイッチで行ってください。プラグやコンセントがいたみ、感電・火災の原因となります。

△ タコ足配線はしない。

コンセントが過熱され、発火の原因となります。

△ 注意

アース工事を確認する

! この機器はアースが必要ですので、アース工事がされているか確認してください。

アース工事が不完全な場合は、感電の原因になることがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話線などに接続しないでください。

ドレンホースは、確実に排水するように配管する

ドレン水が確実に排水するように配管されていることを確認してください。

排水工事が不確実な場合は、屋内に水が漏れて家具などをぬらす原因になることがあります。

漏電しゃ断器を取り付ける

設置場所によっては漏電しゃ断器の取り付けが必要です。お買いあげの販売店または大阪ガスに相談してください。

漏電しゃ断器が取り付けられていないと、感電の原因になります。

設置場所の注意

△ 温室・動植物の飼育室など、特殊な場所には設置しない。

植物が枯れたり、動物が死亡することがあります。また、直接動植物に風を当てないでください。

△ 室内ユニットの吹出口の前に格子を取り付けない。

温度調節が正しく行われず火災の原因となります。

△ 壁や棚などから十分に離して設置する。

△ 可燃性ガスの漏れる場所へは設置しない。

瓦ーガスが漏れてユニットの周囲にたまると、爆発・火災の原因になります。

△ 風通しの良い場所に設置する。

風通しの悪い場所や、吹出口、吸込口をふさぐと加熱し、火災や故障の原因になります。

△ 室内ユニットの下にテレビ等の家電製品を置かない。

水滴が滴下することがあり故障・感電の原因になることがあります。

△ 警告

! エアコンが冷えない、暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつとして考えられますので、お買いあげの販売店にご相談ください。

冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理の内容をサービスマンに確認してください。エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触ると有害な生成物が発生する原因になります。

温風（冷風）を長時間身体に当てる

△ 低温やけや体調悪化の原因となります。

とくにつぎのような方が使用する場合は、周りの人々が注意することが必要です。

* 乳幼児や自分の意志で体を動かせない人
* 激しく疲労している人・深酔いしている人・皮膚の弱い人など

ご使用の前に



換気をする

! 運転中はこまめに換気をする。

他の燃焼器具と一緒に運転するときは、とくにご注意ください。

健康のために、1時間に1~2分程度の換気は必要です。換気が不十分な場合は、酸素不足の原因になります。



安全上のご注意

安全と健康を守るために
ご注意ください。

⚠ 注意

機器の上に乗ったり、腰かけたりしない。
機器の故障の原因や落下・転倒などによるケガの原因になることがあります。



エアコンを掃除するときは運転を停止する

① 運転の停止を確認したあと、必ず専用ブレーカーを切るか、電源プラグを抜いてください。このときファン停止を確認してください。
内部でファンが高速回転しているため、ケガの原因になることがあります。



ユニットに花びん、植木鉢などを載せない

ユニットの上に水の入った容器を載せたりすると、ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、故障・感電の原因になることがあります。



リモコンに水をかけたりしない

リモコンに水などをかけたり、分解などのいたずらをしない。誤作動や故障の原因になります。

ぬれた手でスイッチを操作しない

故障や感電の原因になることがあります。



エアフィルターをはずしての運転禁止

エアフィルターをはずして運転しない。機器内部へのホコリつまりによる故障の原因となります。

エアコンは直接水洗いしない

故障・感電・火災の原因になることがあります。

他の燃焼器具との併用について

エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。

長期使用でいたんだままの据付台で使用しない

いたんだ状態で放置すると、ユニットの落下につながり、ケガの原因になることがあります。

子供に対する注意

小さなお子さまがいるご家庭は、お子さまが誤った使い方をしないように周りの人が注意してください。

エアコンのクリーニングは専門業者に依頼

お客様ご自身でエアコンのクリーニングを行わないでください。水漏れや故障の原因となります。クリーニングを希望する場合は、お買いあげの販売店またはもよりの大阪ガスへご依頼ください。

お願い

家庭用製品として扱ってください

この製品は家庭用ですので、業務用のような使用をすると機器の寿命が著しく短くなります。

設置状態を確認してください

機器の設置にあたって、つぎの項目をチェックしてください。

- ① 機器は水平なところ（確実に設置できるところ）に設置されていますか。
- ② 棚の下など落下物による危険の心配はありませんか。
- ③ 足場など組まなければメンテナンスできない高所に設置されていますませんか。
- ④ 近隣の家に騒音（運転音など）で迷惑をかけない場所に設置されていますか。

雷が鳴り出したら

雷が鳴り出したら、運転を停止する。
雷が発生はじめたら、すみやかに運転を停止し、専用ブレーカーを切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

リモコンを廃棄するときは

リモコンの乾電池を取りはずしてください。

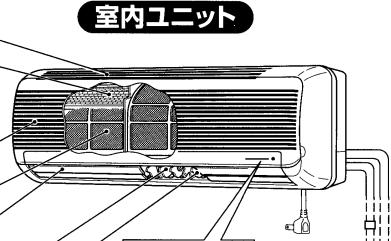
各部のなまえ

室内ユニット

吸入口（前面・上面）
空気清浄フィルター（別売品）
048-0693
空気中のチリやホコリを取り除き、たばこのおいを軽減します。
たばこに含まれる有害物質（一酸化炭素など）は除去できません。

吸込グリル
エアフィルター
ルーバー（上下風向調節板）
吹出口
左右風向調節羽根

15ページ
10ページ
10ページ



受信部
リモコンの信号を受信します。信号を受信すると“ピー”または“ピーピー”と音がします。

タイマーランプ
入・切タイマー予約中に点灯します。
11ページ
運転ランプ
暖房運転 → 赤色点灯
ドライ運転 → 橙色点灯
冷房運転 → 緑色点灯
送風運転 → 緑色点灯

ドレンホース

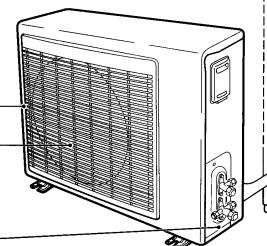
冷房およびドライ運転時に取りのぞかれた除湿水を室外へ排出します。

配管と電線

冷房用室外ユニット

吸入口（裏面・側面）

吹出口
冷房およびドライ運転時には温風を吹き出します。



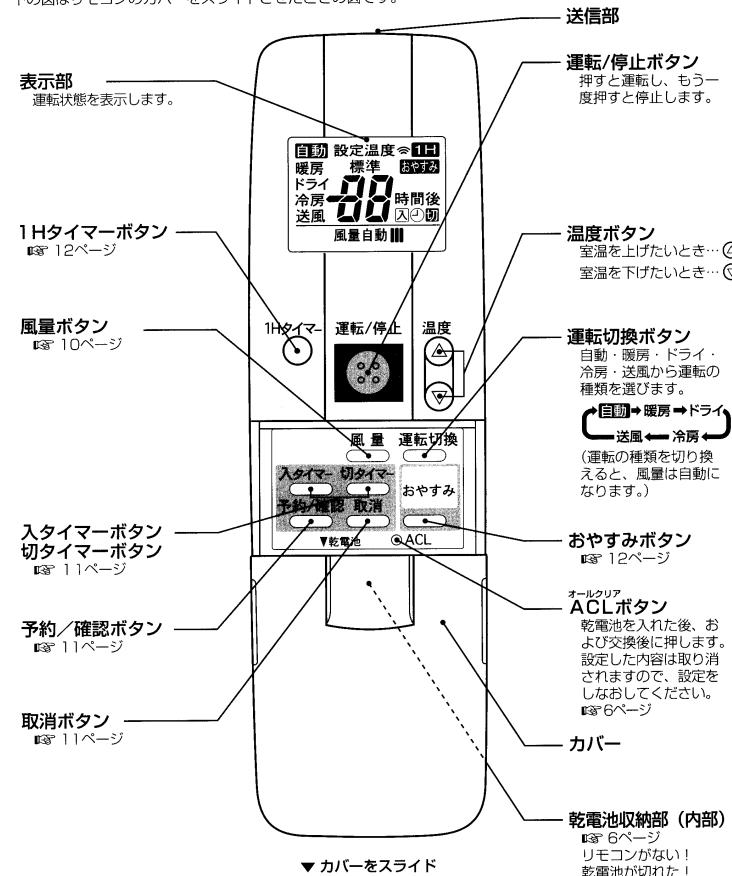
アース用ネジ

ご使用の前に

各部のなまえ

リモコン

説明のため表示画面すべてを表示してあります。
下の図はリモコンのカバーをスライドさせたときの図です。



運転前の準備

お使いになるときは、
次の準備を行ってください。

まず点検しましょう

- 機器のまわりに燃えやすいものはありませんか?
- 機器の外観に異常は見られませんか?
- 電源コードはいたんでいませんか?

はじめてお使いになるときには

1. 吸込グリルを開けます。

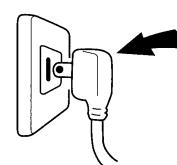
吸込グリルの両端を手前で引き上げると、内側に本体操作部があります。



2. 運転つまみを「運転」の位置に合わせます。

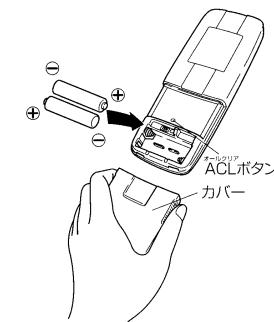


3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

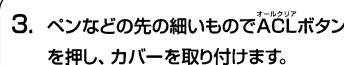


リモコンに乾電池をセットするには

1. カバーの両側を押しながら下にずらしてはすします。



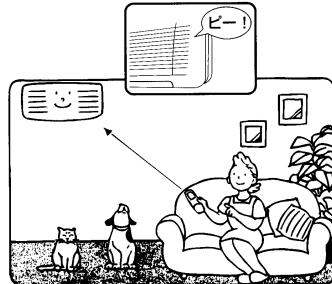
2. 新しい同種の単4形アルカリ乾電池を2本入れます。



運転前の準備

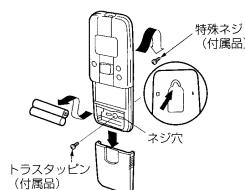
リモコンをお手元でお使いになるときは

- リモコンを操作するとき、および運転中は、送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。
- 室内ユニットが正常に受信すると、「ピー」と音がします。



リモコンを壁などに取り付けてお使いになるときは

- (1) 特殊ネジ(付属品)を壁に止めます。
- (2) リモコンを引っかけます。



注意

- 取り付ける位置で運転/停止ボタンを押し、室内ユニットから「ピー」という受信音がしてエアコンが作動することを確認してください。

リモコンを固定する場合

乾電池収納部にあるネジ穴に、トラスタッピンネジで穴をあけながら壁に固定してください。

アドバイス

乾電池について

- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を取り出しておいてください(乾電池の液漏れで故障することがあります)。
- 乾電池の寿命は通常のご使用で約1年です。ただしリモコンの表示がうすくなったり、受信部に近づかないなど受信できない場合は、2本とも交換してください。交換後は必ず、リモコンのカバーをすらして内側にあるACLボタンを押してください。
- 必ず、単4形アルカリ電池を使用してください。
- 充電式乾電池は寸法、形状、性能の一部が異なりますので使用しないでください。

ご注意

- リモコンは電子瞬時点灯方式またはインバーター方式の蛍光灯がある部屋では、信号を受け取れないことがあります。このような場合は、お買いあげの販売店にご相談ください。
- 本体受信部とリモコンの間に、信号をささぎるようなものを置かないでください。
- リモコンにシースズや水などの液体がかからないように注意してください。
- リモコン使用時に他の電気機器が誤動作する場合は、電気機器を離すか、お買いあげの販売店にご相談ください。
- このエアコンを同じ部屋に2台設置すると個別運転できないことがあります。この場合は、販売店にご相談ください。

おまかせ運転(自動運転)

1. 停止中に[運転切替]を押し、[自動]を選ぶ

[運転切替]を1回押すごとに



の順で運転の種類が変わります。

2. [運転/停止]を押す

室内ユニットから
「ピーー」と音がします。

本体表示部

室内ユニットの運転ランプが点灯。

暖房運転……赤色
ドライ運転……橙色
冷房運転……緑色

- 運転の種類がご希望に合わないときは、おこのみ運転(暖房・ドライ・冷房・送風)にしてください。☞ 9ページ

設定温度を変えたいとき

いずれかの[温度]を押す

室内ユニットから
「ピー」と音がします。



- 温度の変更は、1回押すごとに1℃ずつ変化し、標準温度から±4℃の範囲で変更できます。

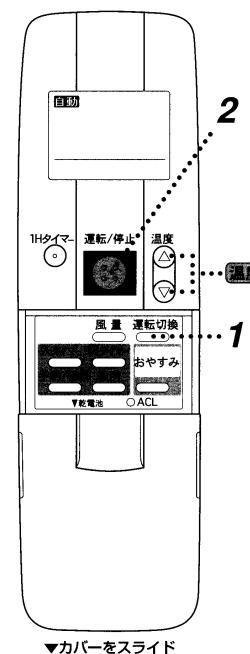
(変更温度は、運転停止後も記憶されています。)

風量・風向を変えたいとき

☞ 風量・風向調節 10ページ

運転を停止したいとき

もう一度[運転/停止]を押す



おまかせ運転にすると…

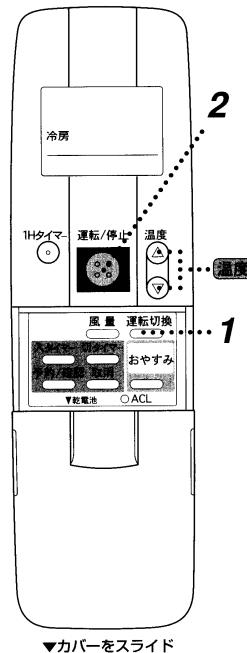
- 室内ユニットの温度センサーが、暖房・ドライ・冷房を自動的に選択します。
(運転停止してから4時間以内に再運転すると、停止前と同じ設定の運転になります。)
- 運転開始時の室温によって運転の種類と設定温度は右の図のようになります。

運転開始時の室温	運転の種類	設定温度	運転ランプ
30℃以上		27℃	
28℃~30℃未満	冷房	26℃	緑
26℃~28℃未満		25℃	
22℃~26℃未満	ドライ	24℃	橙
22℃未満	暖房	24℃	赤

- 温度・風量は自動的に設定されますが、風量をおこのみに応じて変えることもできます。なお風量は切り換わるまでに数秒かかります。また暖房運転開始時には冷風防止機能がはたらきます。☞ 10ページ

おこのみ運転 (暖房・ドライ・冷房・送風運転)

おまかせ運転（自動運転）がおこのみに合わないとき、ご希望の運転内容に設定できます。



おこのみ運転にすること…

- 暖房運転開始時には冷風防止機能がはたらき、微風運転や風が出ない場合があります。
☞ 10ページ

ドライ運転について

- 室温が設定温度よりもある程度高い場合は、冷房運転と同じ運転を行い、室温が設定温度に近づいてくるとドライ運転になり、室内ファンは不規則な運転を行います。
- 外気湿度が低くなったときや狭い部屋などで使用すると、設定温度よりも室温が下がる場合があります。

送風運転について

- 風量が自動の場合には風量は「弱」になります。
- 風量は [風量] を押して変更できます。
- 冬期など他の暖房器具をご使用の場合は、お部屋の空気の循環を行いますので空調のムラが少くなります。
- 別売の空気清浄フィルターを取り付けると空気中のチリやホコリを取り除き、たばこの煙やにおいを軽減します。

ご注意

- 冷房・ドライ時にエアフィルターや別売の空気清浄フィルターの目づまりで露がとんだり、凍結防止機能がはたらく場合があります。この場合はエアフィルターを掃除し、空気清浄フィルターを交換してください。
☞ 15,16ページ

凍結防止について

- 冬期エアコン停止中でも電源（ブレーカー）を切らないようしてください。
☞ 17ページ

1. 停止中に [風量] を押し、暖房・ドライ・冷房・送風のいずれかを選ぶ

[風量] を1回押すごとに
自動 → 暖房 → ドライ
送風 ← 冷房

の順で運転の種類が変わります。

2. [運転/停止] を押す

室内ユニットから“ピーピー”と音がします。

本体表示部

室内ユニットの運転ランプが点灯。
暖房運転……赤色
ドライ運転……橙色
冷房運転……緑色
送風運転……緑色

設定温度を変えたいとき

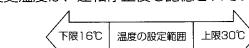
いずれかの [風量] を押す

室内ユニットから“ピー”と音がします。

上げたいとき
温度 [▲] を押す
下げたいとき
温度 [▼] を押す

- 温度の変更は、1回押すごとに1℃ずつ変化します。
- 送風運転では設定温度の変更はできません。

（変更温度は、運転停止後も記憶されています。）



風量・風向を変えたいとき

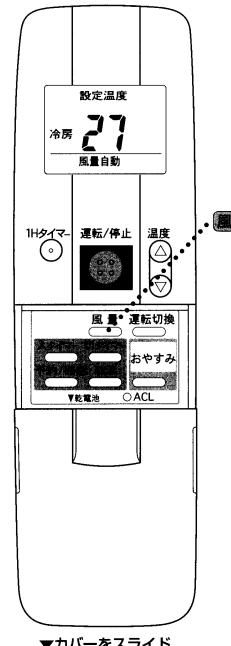
☞ 風量・風向調節 10ページ

運転を停止したいとき

もう一度 [運転/停止] を押す

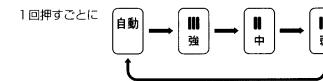
風量・風向調節

冷気・暖気のかたよりを調節できます。

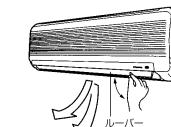


風量を変えたいとき

運転中に [風量] を押す

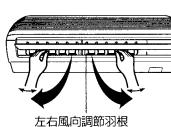


上下の風向きを変えたいとき



吹出口にあるルーバーを手で上下に調節します。
ルーバーを調節する場合は必ず右端を持って行ってください。

左右の風向きを変えたいとき



吹出口にある左右風向調節羽根を手で左右に調節します。上記の羽根は左右2分割されていますので、両端から3番目の羽根をそれぞれ持って行ってください。

使いかた

風量・風向調節について

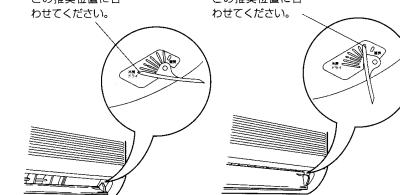
- ルーバーの位置は、下図の推奨位置をご使用ください。

冷房・ドライ運転時

通常ご使用の場合、この推奨位置に合わせてください。

暖房運転時

通常ご使用の場合、この推奨位置に合わせてください。



ご注意

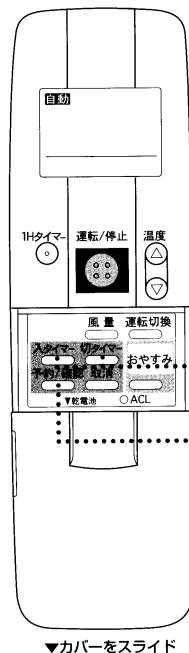
- 暖房運転開始時、冷風防止機能がはたらいているとき、またはドライ運転時、室内ファンが不規則な運転をしている場合は、風量の変更はできません。

☞ 9ページ

- 冷房・ドライ運転時、梅雨など湿度の高いときに左右風向調節羽根を大きく左右に曲げたり、ルーバー位置を推奨位置以外で使用すると、吹出口付近に露が付着したり、滴下することがあります。ルーバー位置は正しくし、左右風向調節羽根をまっすぐの位置にしてください。

入タイマー運転・切タイマー運転

12時間の範囲でお好みの時間に運転を開始または停止できる機能です。



タイマー予約をしたいとき

入タイマー運転

設定した時間後に運転を開始します。

1. [1Hタイマー] を押す

「」が点滅します。
(例) 3時間後に運転を開始したい場合

[入タイマー] を3回押す。



または を1回押すごとに1時間単位で表示、12時間後まで設定できます。設定した時間は次回のタイマー予約時に表示されます。(設定後は残時間表示となります)

1—2—3—…—12

2. [運転/停止] を押す

室内ユニットから“ピー”と音がします。
「」または「」の点滅が点灯に変わります。

本体表示部 室内ユニットのタイマーランプが点灯。

取り消したいとき

[取消] を押す

切タイマー運転

設定した時間後に運転を停止します。

1. [1Hタイマー] を押す

「」が点滅します。
(例) 2時間後に運転を停止したい場合

[入タイマー] を2回押す。



または を1回押すごとに1時間単位で表示、12時間後まで設定できます。設定した時間は次回のタイマー予約時に表示されます。(設定後は残時間表示となります)

1—2—3—…—12

2. [運転/停止] を押す

室内ユニットから“ピー”と音がします。
「」または「」の点滅が点灯に変わります。

本体表示部 室内ユニットのタイマーランプが点灯。

タイマー運転について

- 設定した時間になると、リモコンから本体に信号が送られます。リモコンは本体が信号を受信できる位置に置いてください。
- エアコンが運転・停止中にかかわらず を押し、本体のタイマーランプが付いた時点から、タイマーがはたらきます。
- タイマー時間の設定は、入・切それぞれ設定できます。入・切タイマー運転の同時予約はできません。

入タイマー運転

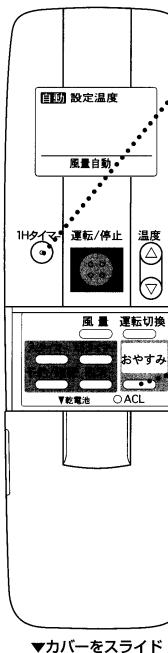
- エアコンの運転中に入タイマー時間の予約をすると、エアコンは運転を継続します。入タイマー時間が経過したときのエアコンの状態によって、下図のような動きをします。



1H(時間)タイマー運転/おやすみ運転

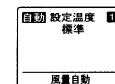
1H(時間)タイマー運転

1時間だけ運転しますので、消し忘れの心配がありません。



運転または停止中に [1Hタイマー] を押す

室内ユニットから“ピーピー”と音がします。



取り消したいとき

[取消] を押す

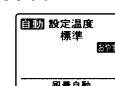
いったん運転を停止して、再度 [運転/停止] を押すと通常運転になります。

おやすみ運転

おやすみ中も快適な環境してくれる機能です。
静かな運転音で室温をコントロールします。

自動・暖房・ドライ・冷房運転中に [1Hタイマー] を押す

室内ユニットから“ピー”と音がします。



取り消したいとき

[取消] をもう一度押す

1Hタイマー運転について

- 1Hタイマーで運転している途中、もう一度 1Hタイマー を押すと、押した時点から1時間後に運転を停止します。
- 切タイマー運転中に 1Hタイマー を押すと、1時間後に運転を停止し、切タイマーは取り消されます。
- 入タイマー設定中に 1Hタイマー を押した場合でも設定時間後に入タイマーがはたらきます。

ご注意

- 切り忘れ防止として、入タイマー運転開始後、25時間以上リモコン操作がない場合には運転を停止します。

おやすみ運転について

- 室内ユニットの風量を自動的に下げます。
- 設定温度は次のようになります。
暖房時はセット1時間後に3℃下がり、それから2時間後さらに4℃下がります。
(つまり、おやすみ運転をセットしてから3時間後には設定温度は7℃下がります)
冷房・ドライ時はセット1時間後に1℃上がり、その状態を継続します。

エアコンのかしこい使いかた

こんなふうに使えば、エアコンは快適ライフのパートナーに。
健康によく、経済的にも効率のよいおつきあいのヒントです。

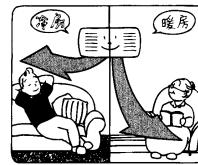
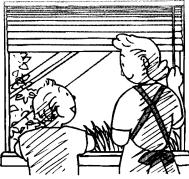


室内温度の設定は適温に

寒くなるほど冷やし過ぎや、汗が出るほど暖め過ぎは不経済。健康のためにもよくありません。

冷暖房効果をアップ

熱が逃げにくく、日差しもさえぎるカーテンやブラインドは、快適な涼しさ、暖かさを逃がしません。



上手に活用 風向調節

暖気は上に、冷気は下にたまるもの。その性質を利用して室温ムラをなくすのが風向調節です。ムダな運転も追放できます。

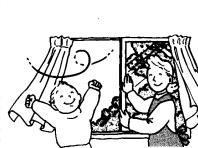


タイマー・おやすみ運転を有効に

冷暖房のかけっぱなしはムダばかりでなく健康にもよくありません。タイマー運転とおやすみ運転で、すっきりぐっすりおやすみタイム。

すきま風を追放！

せっかくの冷暖房も、ドアや窓が開いていては効果半減！すきま風がないかどうか、チェックをお忘れなく。



換気もお忘れなく

健康のために、1時間に1~2分程度の換気は必要です。また、同室内でガス・石油器具などをご使用の場合は安全のためにも必ず換気を実行しましょう。

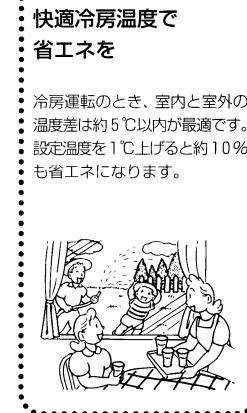
エアフィルターもお掃除を

エアフィルターの汚れは、冷暖房能力低下や、異常音発生の原因になります。吹出口付近に露が付着して滴下することも。電気代のムダにもつながります。



冷房時には熱源はさけて

冷房運転中は、できるだけ熱源をさけたほうが効率よく室内を冷やせます。



快適冷房温度で省エネを

冷房運転のとき、室内と室外の温度差は約5℃以内が最適です。設定温度を1℃上げると約10%も省エネになります。

必要なときに

雷が鳴り出したら要注意！

雷が鳴り出したら、運転を停止して早めに電源プラグをコンセントから抜きましょう。落雷による電気回路の焼損が防げます。



湿度調節で快適空間

暖房運転を長時間続けると、お部屋は乾燥ぎみになります。健康のため、加湿器などで湿度不足を防ぎましょう。

お手入れのしかた

お手入れの前…

運転を停止し、必ず電源プラグを抜く



シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・40°C以上のお湯は、使用しない
(変形・変色の原因になります。)



室内ユニット・リモコンには、絶対に水をかけないでください。
(故障や感電のおそれがあります。)

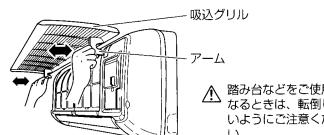
本体・リモコンのお手入れ

柔らかい布でからぶき

●汚れがひどい場合は、布を40°C以下のぬるま湯か水にひたし、よくしぼってふきます。
●吸込グリルは、取りはずして水洗いすることができます。

吸込グリルの取りはずし・取り付けかた

吸込グリルを全開にした状態で、両手でアームを持って手前に引くと取りはずせます。取り付けは、吸込グリルをほぼ水平にして、アームの軸を本体のくぼみに突き当たるまで押し込み、はめ込みます。



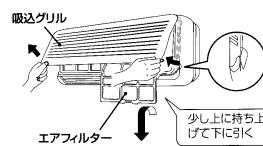
吸込グリルを水洗いする場合

やわらかいスポンジのようなもので軽く洗い、水気を十分ふき取ってください。
汚れのひどい場合は中性洗剤を使用し、よく水洗いをしてから水気を十分ふき取ってください。

エアフィルターのお掃除

1 吸込グリルを開けて、エアフィルターを取りはずす

吸込グリルの両端を持って吸込グリルを手前に引き上げてから、エアフィルターをはずします。

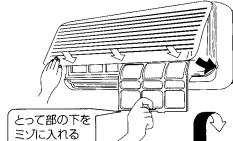


2 掃除機をかけてから水洗いをします



水洗いした後は、日陰でよく乾かしてください。

3 と表示してある方を手前にしてエアフィルターを取り付けます



吸込グリルの両端を持って吸込グリルを閉じてから、矢印部分(△)を押して吸込グリルを固定します。

ご注意

別売の空気清浄フィルターをご使用の場合、汚れた空気清浄フィルターは洗っても再使用できません。お近くの販売店でご購入し、交換してください。

エアコンを長持ちさせるコツ
それはこまめなお手入れです。

シーズン前の点検をするには

1 電源プラグとコンセントは掃除してから差し込む

電源プラグとコンセントの間にホコリや汚れが付着していると、故障・感電・発熱・火災の原因になります。

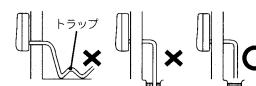
2 アース線がはずれていないことを確認する

3 長期使用でいたんだままの据付台で使用しない

①エアフィルターを掃除してから取り付けます。
別売の空気清浄フィルターを、ご使用の場合は汚れ具合を点検してください。
掃除のしかた 15ページ

②室内・室外ユニットの吹出口や吸込口が、他のものでふさがれていないことを確認する。
室外ユニットの吹出口や吸込口が他のものでふさがれていないことを確認してください。

③冷房シーズン以外のときは、熱源機のガス栓を開きます。
④ドレンホースにつまりやトラップなどのないと、ドレンホースの口がケツや排水溝の水面にもぐっていないことをご確認ください。



長時間使わないときは

●暖房運転をして、機器内部を乾燥させます。



●運転を停止し、本体の運転つまみを「停止」の位置にしてから電源プラグを抜いてください。



●エアフィルターを掃除してください。
別売の空気清浄フィルターを取り付けた場合は、汚れ具合を点検してください。



●リモコンの乾電池は取り出しておきましょう。



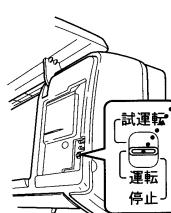
●熱源機のガス栓を確実に閉めます。



必要なときに



応急運転



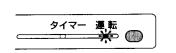
吸込グリルを開ける

リモコンがない！乾電池が切れてる！
そんなときも大丈夫です。

運転つまみを一度「停止」の位置にしてから、「運転」の位置にもどす

本体表示部

室内ユニットの運転ランプが点灯。



• 運転の種類はおまかせ運転になります。 8ページ

停止したいとき

運転つまみを「停止」の位置にする

• 停止後にリモコンが見つかったときなどには、運転つまみを「運転」の位置にもどしてください。

知っておいていただきたいこと

冬期エアコン停止中の凍結予防運転について

冬期エアコン停止中でも電源（ブレーカー）を切らないようにしてください。冬期外気温が0°C以下になりますと、熱交換器や温水回路、暖房用熱源機の熱交換器の水が凍結し、熱交換器や配管などが破損することがあります。室内温度が10°C以下になるとエアコンの停止中は熱動弁を開いて、温水回路などの破損を予防することができます。

しかし、エアコン停止中、他の暖房装置を使った場合には、外気温が0°C以下であっても室内温度が10°Cをこえていると、熱動弁は開きません。このため、凍結予防を行うことができませんので、他の暖房装置を使う場合には必ずエアコンを暖房運転で併用してください。

冷風防止運転について

暖房運転開始時、風量は停止または微風準軌になります。吹出温度が高くなるにつれて、設定風量になります。

冷房・ドライ運転時の凍結予防機能について

冷房・ドライ運転時、温度条件やエアフィルター、別売の空気清浄フィルターの目づまり具合によっては室内ユニット内部が凍結することがあるため、事前に室外ユニットの運転を停止させる機能です。

運転条件

暖房時	外気の温度 約21°C以下
冷房時	外気の温度 約21°C以上 43°C以下 部屋の温度 約21°C以上 32°C以下 部屋の湿度 約80%以下
ドライ時	外気の温度 約21°C以上 43°C以下 部屋の温度 約15°C以上 32°C以下 部屋の湿度 約80%以下

- 上記条件以外の温度で長時間運転した場合、保護装置がはたらいて運転ができなくなることがあります。
- 室内湿度が80%を超えるような状態でエアコンを長時間ご使用されますと、エアコン表面に露がついて滴下することがあります。
- 室温が20°C以下のときは、冷房運転しないでください。冷房用熱交換器に露がついたり機器の寿命をさがせる原因になります。
- ご使用中に停電したり、誤って電源プラグを抜いてしまったときには、通電後もう一度運転操作をしてください。

故障かな？

故障かな？だいじょうぶ

暖房時

運転してもすぐに温風が出てこない

機械内部が暖まれば、温風が出ます。温風が出るまで、1~2分かかる場合があります。

「チリチリ」「ビシバシ」という音がする

室温調整器が作動したとき、金属やプラスチックの膨張・収縮によるきしみ音です。

水の流れるような音がする

熱動弁が開くと水が循環する音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。

冷房時

冷房運転開始時、「シュー」「チュルチュル」という音がする

冷房に使用するガス（冷媒）が流れはじめた音です。

冷風吹出口付近に水がつく

使用条件によって、冷風吹出口のまわりに水滴がつくことがあります。ぞうきんなどでふき取ってください。

いやなにおいが出る

機械に付着したタバコの煙、化粧品、食品などのにおいが吹き出さためです。また、空気清浄フィルターが汚れていると、におうことがあります。

冷風吹出口から霧が吹き出す

室内の温度条件によって起こることがあります。

運転停止後すぐに再運転しない

室外ユニットに3分間保護タイマーが付いているため、いったん停止させると約3分間は運転を開始しません。

以上、お調べになつても、
なお異常のあるときや、
よくわからないときは、
お買いあげの販売店ま
たは大阪ガスへご連絡
ください。



故障かな？お調べください

運転しない

- 電源プラグがはずれていませんか？
- 電源ヒューズやブレーカーが切れていませんか？
- リモコンの乾電池が切れていませんか？
- 6,7ページ
- タイマーがセットされていませんか？
- 11,12ページ
- 室内ユニットの運転つまみが「停止」になっていますか？
- 6ページ
- 停電ではありませんか？

よく冷えない、よく暖まらない

- 設定温度が高すぎたり、低すぎたりしていませんか？
- 熱源機のガス栓は全開になっていますか？（自動、暖房時）
- 風量の表示が「弱」になっていませんか？
- ルーバーの位置は適正ですか？
- 10ページ
- エアフィルターにホコリやゴミがつまっていますか？
- 15ページ
- 吹出口の前方に障害物はありませんか？
- 室外ユニットの吸込口や吹出口がふさがっていますか？（冷房時）
- ドアや窓が開いていませんか？
- 在室人員が多すぎませんか？（冷房時）

リモコンの表示がおかしい 信号を受けつけない 受信音がしない

- リモコンの乾電池が切れていませんか？
- 6ページ
- リモコンにアルカリ乾電池以外の乾電池を使っていませんか？
- 6ページ
- 乾電池交換のあと、ACLボタンを押しましたか？
- 6ページ
- リモコン送信部が、本体受信部に正しく向けられていませんでしたか？
- リモコン送信部を本体受信部に向け、2回続けて【運転／停止】ボタンを押してください。

すぐ販売店へ

ただちに運転を中止して、電源プラグを抜いてからお買いあげの販売店もしくはもよりの大坂ガスへご連絡ください（漏洩など漏れの場合は、漏洩管のガス栓を閉めてください）。

電源プラグやコードが異常に熱い



コードの皮ふくが破れている



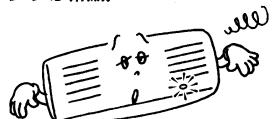
ブレーカーやヒューズが、たびたび切れる



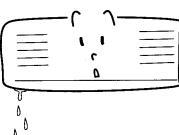
本体に誤って異物や水を入れてしまった



運転ランプが点滅



室内ユニットから水が漏れる



ガスくさいと感じたときはスイッチ、電源プラグなどを絶対に操作せずにただちにガス栓を閉めてお買いあげの販売店もしくは大阪ガスへご連絡ください。



アフターサービス

18ページの「故障かな?と思ったら」をご確認のうえ、なお異常のあるときはお買いあげの販売店、またはもよりの大坂ガスにご連絡ください。保証期間内は、保証書に記載された内容にしたがい、無料にて修理いたします。

保証について

この商品には、保証書がついています。お買いあげの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間…お買いあげ日から2年間。ただし、暖房用熱交換器については3年間冷凍サイクル部については5年間です。

詳しくは保証書をよくお読みください。

●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただきことがありますので、この取扱説明書とともに保管してください。



修理を依頼される場合

修理をお申しつけのときは、次のことをお知らせ願います。

①お名前・ご住所・お電話・道順(付近の目印なども)
②品名(器具本体銘板に記載してあります。)

例●142-5020 室内ユニット
142-5070 室外ユニット

③異常の様子(表示ランプの状態など、できるだけくわしくお願いします。)

④訪問希望日

補修用性能部品の保有期間

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理いたします。この商品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後10年です。

但し、保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

転居または機器を移設される場合

●転居されるときは、お買いあげの販売店にご相談ください。

また贈答品などお買いあげの販売店が不明の場合は、もよりの大坂ガスにご相談ください。

●増改築などで機器を移設する場合、工事に専門技術が必要になります。お買いあげの販売店、またはもよりの大坂ガスにご連絡ください。転居・移設にともなう調整や工事の費用は保証期間内でも有料となります。

●銘板に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

●新冷媒R410Aのエアコンに、従来冷媒R22を混入させないでください。冷媒の化学的特性が異なり冷凍サイクルの故障の原因になりますので絶対に避けください。



必要なときに



点検整備のおすすめ

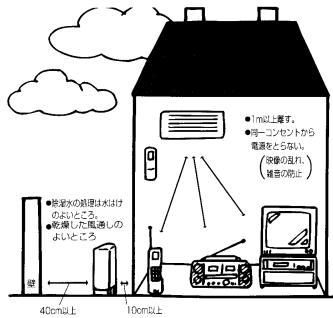
●快適にご使用いただくために定期的に点検整備を受けられることをおすすめします。

●点検整備は、お買いあげの販売店またはもよりの大坂ガスにお申し付けください。点検整備の内容は、機能部品の点検・確認及び清掃整備です。この場合は有料となります。

アフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりの大坂ガスにお問い合わせください。

設置について

据え付け場所について



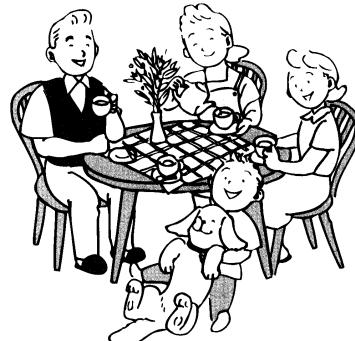
- 機器（室外ユニット）の重量に十分耐える場所で、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
- 室外ユニットの吹出口からの熱風や運転音が、隣家の迷惑にならないところを選んでください。
- 室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、能力低下や騒音増大のものになりますので吹出口付近には物を置かないでください。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのあるところや、蒸気・油煙の発生するところは設置しないでください。
- 工場・海浜地区・温泉地帯など特殊なところでご使用になりますと、腐食などにより故障の原因になりますことがあります。
- 高温になるものの近くや、積雪その他により、室外吹出口をふさぐような場所には設置しないでください。
- ビルの上階部など、常時強風の当たるところには設置しないでください。
- ノイズを発生する高周波機器、無線機器などがあるところには設置しないでください。
- 室内ユニットの下にタンスなどの障害物やテレビなどの電気器具を置かないでください。
- 冷房・ドライ運転時、室外ユニットから凝縮水が滴下することがあります。
室外ユニットを天吊り設置した場合は、室外ユニットの下に物を置かないでください。

電気配線について

- 電源は専用回路をご使用ください。他の電気製品と共にすると、ブレーカやヒューズが切れることがあります。



- 感電事故防止のため、アースを取り付けてください。アース線は、アース用ネジに取り付けてください。
- 次のようなところには、アース線を接続しないでください。
 - ①水道管（プラスチック部分があり、アースの役目をはしません。）
 - ②ガス管（ガス漏れなどの原因となり大変危険です。）
 - ③電話線のアース・避雷針（落雷のときに大きな電流が流れて危険です。）
- 据え付け場所によっては、感電防止のため漏電遮断器の取り付けが法規によって義務づけられています。



仕様

室内ユニット 142-5020型

品種類		142-5020型
電源		暖房・冷房兼用、セパレートタイプ
暖房	能力 kW (kcal/h)	単相100V 60Hz 3.5 (3,000)
	運転電流 A	0.4
	消費電力 W	40
	騒音 dB	40
標準適室		9~13
冷房	能力 kW	2.5
	運転電流 A	0.4
	消費電力 W	40
	除湿量 L/h	1.4
騒音 dB		41
標準適室	風量 m³/min	7~10
	製品質量 kg	6.5
	外形寸法	9
	高さ×幅×奥行 mm	270×805×210
付属品		取扱説明書 (1)、保証書 (1)、リモコン (1)、乾電池 (2)、設置工事説明書 (1)、トラスタッピング (1)、特殊ネジ (1)

室外ユニット 142-7020型

品種類		142-7020型
電気特性		冷房専用、セパレートタイプ
運転電流	単相100V 60Hz	
	A	8.3
	消費電力 W	760
	騒音 dB	45
製品質量 kg		25
外形寸法		530×738×286
高さ×幅×奥行 mm		
付属品		保証書 (1)

必要なとき